

信州環境カレッジ登録講座

定員100名

参加費無料

Vol.20 八ヶ岳自給圏をつくる会 講演会

未来の農業を変える テクノロジーがここにある！

講演 <光透過型有機薄膜太陽電池>

2025年

開発の現状と今後の展開

9月27日 土 13:30 - 15:30

公立諏訪東京理科大学 講義室 Zoomあり



茅野市豊平5000-1

茅野駅から車で10分(バスは当日運休)

公立諏訪東京理科大学 工学部機械電気工学科
教授 渡邊康之氏

農地の上に太陽光パネルを設置する営農型太陽光発電が注目だが、太陽光パネルの影が農作物栽培に与える影響から収穫量の減少など課題があるね。

本講座では、農作物栽培に必要な光を通す有機薄膜太陽電池を活用する農業と太陽光発電の両立可能な「ソーラーマッチング」について、光合成から太陽電池の発電の仕組みに至るまで詳しく説明します。

次世代太陽電池で話題のペロブスカイト太陽電池との違いや、今後のエネルギー・食料安全保障に向けての解決策となる未来の技術、スマート農業に向けた開発指針について解説するよ。

対象者

諏訪地域一般住民、行政担当者（環境・農業）、議会議員、JA関連者、農業従事者、再エネ事業者、研究開発者、高校生・大学生など



八ヶ岳自給圏をつくる会主催

お問い合わせと参加申込みはQRコード又は、

yszzone456@gmail.com 担当：清水

申込期間 9/1～9/25

会員又は一般、会場又はZoomをご記入ください。



<後援>

岡谷市、下諏訪町
諏訪市、茅野市
原村、富士見町